



ポリルーフ防水材
ポケットブック

はじめに

ポリルーフはFRP防水が得意とする全ての用途を網羅した総合FRP防水システムです。

メーカーではFRP防水専門の立場から、用途や条件に適した個別の製品設計を進めており、構成する品種は多岐にわたります。

一方、FRP防水工事においては、プライマーの選定、硬化剤の種類や配合、可使時間やオープンタイム、各種法令等、管理すべき項目が多くあります。

このような状況の中、製品ごとに、用途、区分、特性など条件別で一覧表にし、手軽に参照出来るようなポケットブックのご要望が少なくありませんでした。

そこで、このようなご要望に対応出来るツールを提供できないかを模索し、ここに本資料を作成する運びとなりました。

かねてから質問の多い項目を中心に、関東ポリルーフ工業会の技術委員会で精査し、ポケットブックとしてまとめました。特に施工管理者や技能員の方々にご覧頂き、ご活用頂ければ幸いです。

2021年4月

発刊：全国ポリルーフ工業会

作成：関東ポリルーフ工業会・技術委員会

目次

※ページ番号のタップで該当ページへ移動します。

プライマー関連 S-1, S-1R, S-1BN, S-1X, S-1R マイルド, S-1DA 鉄部用, S-1V, A-1 水性, プライマーEX	成分	4
	季型・荷姿・液性	5
	適用下地①	6
	適用下地②	7
	標準配合比	8
	可使時間	9
	許容工程間隔	10
	許容工程間隔以後の 処理	11
	SDS 絵表示	12
	危険物区分	13
	労安法:屋外	14
	労安法:屋内	15
下塗り関連 S-2 α , S-2 β , S-2NS, C-1, AS, M パテ, S-3N, S-3NS, PU-1, PU-2	成分	16
	季型・荷姿・液性	17
	標準配合比	18
	可使時間	19
	許容工程間隔	20
	許容工程間隔以後の 処理	21
	SDS 絵表示	22
	危険物区分	23
	労安法:屋外	24
	労安法:屋内	25

目次

※ページ番号のタップで該当ページへ移動します。

仕上塗り関連	成分26
S-4, S-4B, S-4NS, C-1T, X-1AT, S-4U, S-4AU 水性, S-4AU, S-4S, S-4S 専用シナー	季型・荷姿・液性27
	標準配合比28
	可使時間29
	SDS 絵表示30
	危険物区分31
	労安法:屋外32
	労安法:屋内33
添加剤関連	成分34
SC 促進剤 D, SC 促進剤 NS, SC 硬化剤, SC 硬化剤 NS, SC 硬化剤 B, SC 硬化剤 AS・V, SC 洗浄用シナー, SC トナー, S-3N 用添加剤, セメント沈降防止剤	荷姿・使用対象35
	SDS 絵表示36
	危険物区分37
	労安法:屋外38
	労安法:屋内39
	参考:絵表示について40

品名	成分
ポリルーフ S-1	1液型ウレタン樹脂
ポリルーフ S-1R	1液型ウレタン樹脂
ポリルーフ S-1BN	1液型ウレタン樹脂
ポリルーフ S-1R マイルド	1液型ウレタン樹脂
ポリルーフ S-1X	1液型ウレタン樹脂
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	ビニルエステル樹脂
ポリルーフ S-1V	ビニルエステル樹脂
ポリルーフ S-1NS	ノンスチレン樹脂
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	水性 1 液型アクリル樹脂
ポリルーフ プライマーEX	エポキシ樹脂

品名	季型	荷姿	液性
ポリルーフ S-1	1 種 (通年)	16kg 缶	1
ポリルーフ S-1R	1 種 (通年)	16kg 缶	1
ポリルーフ S-1BN	1 種 (通年)	16kg 缶	1
ポリルーフ S-1R マイルド	1 種 (通年)	16kg 缶	1
ポリルーフ S-1X	1 種 (通年)	3kg 缶, 17kg 缶	1
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	1 種 (通年)	1kg 缶, 4kg 缶, 18kg 缶	2
ポリルーフ S-1V	2 種 (通年・W)	15kg 缶	2
ポリルーフ S-1NS	1 種 (通年)	15kg 缶	3 (10℃ 以下:4)
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	1 種 (通年)	17kg 缶	1
ポリルーフ プライマー EX	1 種 (通年)	15kg 缶セット (主剤 10kg、 硬化剤 5kg)	2

■適用下地(◎:最適 ○:適 △:問合せ ×:不可)→[目次へ](#)

品名	コンクリート モルタル系	鉄 (事前研磨)
ポリルーフ S-1	◎	×
ポリルーフ S-1R	○	× ※鉛ドレン は可能
ポリルーフ S-1BN	◎	×
ポリルーフ S-1R マイルド	◎	×
ポリルーフ S-1X	△	◎:アルミ、ステ ンレス、亜鉛、鉛 ドレンも可能
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	×	◎
ポリルーフ S-1V	◎	×
ポリルーフ S-1NS	◎	×
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	◎ ※シート用	×
ポリルーフ プライマー EX	◎ ※ウレタン用	×

■適用下地(◎:最適 ○:適 △:問合せ ×:不可)→[目次へ](#)

品名	既設ウタ (事前目粗し)	既設 FRP (事前目粗し)	アスファルト・ シート防水系
ポリルーフ S-1	△	△	×
ポリルーフ S-1R	◎	○	×
ポリルーフ S-1BN	○	△	×
ポリルーフ S-1R マイルド	○	○	×
ポリルーフ S-1X	△	◎	×
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	×	×	×
ポリルーフ S-1V	×	×	×
ポリルーフ S-1NS	×	△	×
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	×	×	×
ポリルーフ プライマー EX	※AVS 工 法のみ○	※PU 工法 のみ○	×

品名	標準配合比	
	硬化剤	促進剤
ポリルーフ S-1	—	—
ポリルーフ S-1R	—	—
ポリルーフ S-1BN	—	—
ポリルーフ S-1R マイルド	—	—
ポリルーフ S-1X	—	—
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	SC 硬化剤 0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-1V	SC 硬化剤 AS・V 1～5%	—
ポリルーフ S-1NS	SC 硬化剤 NS 0.8～2%	SC 促進剤 K 1～1.5%
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	—	—
ポリルーフ プライマー EX	EX の主剤・硬化剤 を混合する	—

品名	可使時間			意図して 促進剤を追 加する場合
	春秋	夏	冬	
S-1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	—
S-1R	2 時間 ※1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	—
S-1BN	2 時間 ※1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	—
S-1R マイルド	2 時間 ※1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	—
S-1X	2 時間 ※1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	—
S-1DA 鉄部用	20～ 60 分 ※2	15～ 45 分 ※2	30～ 90 分 ※2	SC 促進剤 D 0.3～0.4%
S-1V	20～ 60 分 ※2	15～ 45 分 ※2	30～ 90 分 ※2	—
S-1NS	20～ 60 分 ※2	15～ 45 分 ※2	30～ 90 分 ※2	10℃以下は 必須 SC 促進剤 NS 0.2～0.4%
A-1 水性	2 時間 ※1	2 時間 ※1	2 時間 ※1	—
EX	4 時間	4 時間	4 時間	—

※1:1液タイプは塗布後に反応を開始するが、ローラーで攪拌すると一部反応が進むため一度に使い切る目安として約2時間で設定した。

※2:温度、配合量により異なる。あくまでも標準配合における目安であり、範囲外になる場合もある。

品名	工程間隔 ()内は木造バルコニー		
	夏	春秋	冬
ポリルーフ S-1	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)
セメント 50%添加	5 時間	5 時間	5 時間
ポリルーフ S-1R	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)
セメント 50%添加	5 時間	5 時間	5 時間
ポリルーフ S-1BN	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)
ポリルーフ S-1R マイルド	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)
ポリルーフ S-1X	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)	5 時間 (3 時間)
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	3 日間※1	3 日間※1	3 日間※1
ポリルーフ S-1V	3 日間※1	3 日間※1	3 日間※1
ポリルーフ S-1NS	8 時間	8 時間	8 時間
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	8 時間	8 時間	8 時間
ポリルーフ プライマーEX	2 日間	3 日間	3 日間

※1:工程間隔以内でも、アセトン拭き確認を行う。タックが戻らなければP11 の処置を行う。

品名	許容工程間隔以後の処置方法
ポリルーフ S-1	下地表面が 7～8 割露出されるまで表面目粗しの上、再塗布
セメント 50%添加	
ポリルーフ S-1R	下地表面が 7～8 割露出されるまで表面目粗しの上、再塗布
セメント 50%添加	
ポリルーフ S-1BN	下地表面が 7～8 割露出されるまで表面目粗しの上、再塗布
ポリルーフ S-1R マイルド	下地表面が 7～8 割露出されるまで表面目粗しの上、再塗布
ポリルーフ S-1X	下地表面が 7～8 割露出されるまで表面目粗しの上、再塗布
ポリルーフ S-1DA 鉄部用	表面目粗し・アセトン拭きの上、再塗布
ポリルーフ S-1V	表面目粗し・アセトン拭きの上、再塗布
ポリルーフ S-1NS	表面目粗し・アセトン拭きの上、再塗布
ポリルーフ A-1 水性 プライマー	清掃の上、再塗布
ポリルーフ プライマーEX	清掃の上、再塗布

品名		ラベル絵表示 (→絵表示 説明)
ポリルーフ S-1		  
ポリルーフ S-1R		  
ポリルーフ S-1BN		  
ポリルーフ S-1R マイルド		  
ポリルーフ S-1X		  
ポリルーフ S-1DA 鉄部用		   
ポリルーフ S-1V		  
ポリルーフ S-1NS		
ポリルーフ A-1 水性プライマー		 
ポリルーフ プライマー EX	主剤	  
	硬化剤	   

品名		区分	密度	等級	指定数量
S-1		第4類第一石油類 (非水溶性液体)	0.95	Ⅱ	200L
S-1R		第4類第一石油類 (非水溶性液体)	0.95	Ⅱ	200L
S-1BN		第4類第一石油類 (非水溶性液体)	0.96	Ⅱ	200L
S-1R マイルド		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.0	Ⅲ	1,000L
S-1X		第4類第一石油類 (非水溶性液体)	0.96	Ⅱ	200L
S-1DA 鉄部用		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
S-1V		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
S-1NS		第4類第三石油類 (非水溶性液体)	1.15	Ⅲ	2000L
A-1 水性		非該当	1.0	—	—
EX	主	第4類第一石油類 (非水溶性液体)	0.97	Ⅱ	200L
	硬	第4類第二石油類 (非水溶性液体)	0.96	Ⅲ	1,000L

品名		有機則	特化則
ポリルーフ S-1		非該当	非該当
ポリルーフ S-1R		非該当	非該当
ポリルーフ S-1BN		非該当	非該当
ポリルーフ S-1R マイルド		非該当	非該当
ポリルーフ S-1X		非該当	非該当
ポリルーフ S-1DA 鉄部用		非該当	非該当
ポリルーフ S-1V		非該当	非該当
ポリルーフ S-1NS		非該当	非該当
ポリルーフ A-1 水性プライマー		非該当	非該当
ポリルーフ プライマー EX	主剤	非該当	非該当
	硬化剤	非該当	非該当

品名		有機則 ※該当物は全て 第 2 種有機溶剤	特化則 ※該当物は全て第2類 物質・特別有機溶剤
S-1		キシレン, 酢酸エチル	エチルベンゼン
S-1R		キシレン, 酢酸エチル	エチルベンゼン
S-1BN		キシレン, 酢酸エチル , トルエン	エチルベンゼン
S-1R マイルド		非該当	非該当
S-1X		酢酸エチル, トルエン	非該当
S-1DA 鉄部用		非該当	スチレン
S-1V		非該当	スチレン
S-1NS		非該当	非該当
A-1 水性		非該当	非該当
EX	主	キシレン, トルエン, IPA	エチルベンゼン
	硬	キシレン, トルエン, n-ブタノール	エチルベンゼン

品名	成分
ポリルーフ S-2 α	ポリエステル樹脂 (JASS8 M-101-2014 防水用ポリエステル樹脂適合)
ポリルーフ S-2 β	ポリエステル樹脂 (JASS8 M-101-2014 防水用ポリエステル樹脂適合)
ポリルーフ S-2NS	ノンスチレン型ポリエステル樹脂 (JASS8 M-101-2014 防水用ポリエステル樹脂適合)
ポリルーフ C-1	ポリエステル樹脂
ポリルーフ AS	ビニルエステル樹脂(MMA系)
ポリルーフ M パテ	ポリエステル樹脂
ポリルーフ S-3N	ビニルエステル樹脂
ポリルーフ S-3NS	ノンスチレン型ポリエステル樹脂 (JASS8 M-101-2014 防水用ポリエステル樹脂適合)
ポリルーフ PU-1	1 成分型ウレタン樹脂 (JIS A 6021 高伸張形物性基準適合)
ポリルーフ PU-2	2 成分型ウレタン樹脂 (JIS A 6021 高伸張形物性基準適合)

品名	季型	荷姿	液性
ポリルーフ S-2 α	3 種 (S,M,W)	20kg 缶	2
ポリルーフ S-2 β	3 種 (S,M,W)	20kg 缶	2
ポリルーフ S-2NS	3 種 (S,M,W)	15kg 缶	2 (10℃ 以下:3)
ポリルーフ C-1	1 種 (通年)	20kg 缶	2
ポリルーフ AS	2種 (S,W)	15kg 缶	2
ポリルーフ M パテ	1 種 (通年)	4kg 缶	2
ポリルーフ S-3N	3 種 (S,M,W)	16kg 缶	2
ポリルーフ S-3NS	3種 (S,M,W)	15kg 缶	2 (10℃ 以下:3)
ポリルーフ PU-1	2 種 (S,W)	18kg 缶	1
ポリルーフ PU-2	3 種 (S,M,W)	18kg 缶 ^{セツ} (主剤 6kg、 硬化剤 12kg)	2

品名	標準配合比	
	硬化剤	促進剤
ポリルーフ S-2 α	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-2 β	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-2NS	SC 硬化剤 NS: 0.8～2%	10℃以下は 必須 SC 促進剤 NS 0.6～1.2%
ポリルーフ C-1	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ AS	SC 硬化剤 AS・V: 1～5%	—
ポリルーフ M パテ	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-3N	SC 硬化剤 0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-3NS	SC 硬化剤 NS: 0.8～2%	10℃以下は 必須 SC 促進剤 NS 0.2～0.4%
ポリルーフ PU-1	—	—
ポリルーフ PU-2	PU-2 の主剤・硬化剤 を混合する	—

品名	可使時間			意図して 促進剤を追加 する場合
	春秋	夏	冬	
S-2 α	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
S-2 β	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	SC 促進剤 D: 0.1～0.3%
S-2NS	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
C-1	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
AS	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
M パテ	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
S-3N	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	SC 促進剤 D: 0.2～0.5%
S-3NS	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
PU-1	20～ 30分	20～ 30分	20～ 30分	—
PU-2	約 60 分	約 30 分	約 90 分	PU 専用促進剤: 0.5～1.0% (PU-2 硬化剤 に対して)

※1:温度、配合量により異なる。あくまでも標準配合における目安であり、範囲外になる場合もある。

品名	工程間隔			対象 上塗
	夏	春秋	冬	
S-2 α	24 時間	30 時間	48 時間	S-2 α S-3N S-4(B)
S-2 β	24 時間	30 時間	48 時間	S-2 β S-3N
S-2NS	8 時間	8 時間	8 時間	S-2NS S-3NS
C-1	24 時間	30 時間	48 時間	C-1 C-1T
AS	3 時間	30時間	48 時間	AS
	2 時間	6 時間	48 時間	S-2 α S-2 β
M パテ	24 時間	30 時間	48 時間	S-2 α S-2 β
S-3N	3 日間	3 日間	3 日間	S-3N S-4(B)
S-3NS	8 時間	8 時間	8 時間	S-3NS S-4NS
PU-1	3日間	3日間	3日間	PU-1 S-4AU S-4S
PU-2	3日間	3日間	3日間	PU-2 S-4AU S-4S

品名	許容工程間隔以後の処置方法 ※本ページはブランド名を省略	対象 上塗
S-2 α	表面目粗し・アセトン拭きの上、 S-1X を塗布	S-2 α S-3N S-4(B)
S-2 β	表面目粗し・アセトン拭きの上、 S-1X を塗布	S-2 β S-3N
S-2NS	8～24 時間:表面目粗し・アセトン 拭き 24 時間以上:表面目粗し・アセトン 拭きの上、S-1R マイルドを塗布	S-2NS S-3NS
C-1	表面目粗し・アセトン拭きの上、 S-1X を塗布	C-1 C-1T
AS	表面目粗し・アセトン拭きの上、 S-1R を塗布	AS
	同上	S-2 α S-2 β
M パテ	表面目粗し・アセトン拭きの上、 S-1X を塗布	S-2 α S-2 β
S-3N	表面目粗し・アセトン拭きの上、 S-1X を塗布	S-4 S-4B
S-3NS	8～24 時間:表面目粗し・アセトン 拭き 24 時間以上:表面目粗し・アセトン 拭きの上、S-1R マイルドを塗布	S-3NS S-4NS
PU-1	3～7 日:S-1R/セメントを塗布 7 日以上:表面目粗しの上、S-1R/ セメントを塗布	PU-1 S-4AU S-4S
PU-2	3～7 日:S-1R/セメントを塗布 7 日以上:表面目粗しの上、S-1R/ セメントを塗布	PU-2 S-4AU S-4S

品名		ラベル絵表示 (→絵表示説明)
ポリルーフ S-2α		
ポリルーフ S-2β		
ポリルーフ S-2NS		—
ポリルーフ C-1		
ポリルーフ AS		
ポリルーフ M パテ		
ポリルーフ S-3N		
ポリルーフ S-3NS		—
ポリルーフ PU-1		
ポリルーフ PU-2	主剤	
	硬化剤	

品名		区分	密度	等級	指定数量
S-2 α		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
S-2 β		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
S-2NS		第4類第三石油類 (非水溶性液体)	1.15	Ⅲ	2,000L
C-1		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
AS		第4類第一石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅱ	200L
M パテ		第2類引火性固体	2.0	Ⅲ	1,000L
S-3N		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
S-3NS		第4類第三石油類 (非水溶性液体)	1.35	Ⅲ	2,000L
PU-1		第4類第二石油類 (非水溶性液体)	1.3	Ⅲ	1,000L
PU-2	主	第4類第四石油類 (非水溶性液体)	1.05	Ⅲ	6,000L
	硬	指定可燃物 可燃性液体	1.6	—	—

品名		有機則	特化則
ポリルーフ S-2 α		非該当	非該当
ポリルーフ S-2 β		非該当	非該当
ポリルーフ S-2NS		非該当	非該当
ポリルーフ C-1		非該当	非該当
ポリルーフ AS		非該当	非該当
ポリルーフ M パテ		非該当	非該当
ポリルーフ S-3N		非該当	非該当
ポリルーフ S-3NS		非該当	非該当
ポリルーフ PU-1		非該当	非該当
ポリルーフ PU-2 ※MOCA： 3,3'-ジクロロ -4,4'-ジアミノ -ジフェニルメタン	主剤	非該当	トリレンジ イソシアネート (第2類物質)
	硬化剤	非該当	MOCA (第2類物質)

品名		有機則	特化則
ポリルーフ S-2 α		非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ S-2 β		非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ S-2NS		非該当	非該当
ポリルーフ C-1		非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ AS ※Sタイプのみ		非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ M パテ		非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ S-3N		非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ S-3NS		非該当	非該当
ポリルーフ PU-1		非該当	非該当
ポリルーフ PU-2 ※MOCA: 3,3'-ジクロロ -4,4'-ジアミノ -ジフェニルメタン	主剤	非該当	トリレンジ イソシアネート (第2類物質)
	硬化剤	非該当	MOCA (第2類物質)

品名	成分
ポリルーフ S-4	ポリエステル樹脂
ポリルーフ S-4B	ポリエステル樹脂
ポリルーフ S-4NS	ノンスチレン型ポリエステル樹脂
ポリルーフ C-1T	ポリエステル樹脂
ポリルーフ X-1AT	ビニルエステル樹脂
ポリルーフ S-4U	アクリルウレタン樹脂
ポリルーフ S-4AU	アクリルウレタン樹脂
ポリルーフ S-4AU 水性	アクリルウレタン樹脂
ポリルーフ S-4S	アクリルシリコン樹脂
ポリルーフ S-4S 専用シンナー	混合溶剤(キシレン、エチルベンゼン、トルエン等)

品名	季型	荷姿	液性
ポリルーフ S-4	3 種 (S,M,W)	20kg 缶(グレー) 15kg 缶(他)	2
ポリルーフ S-4B	3 種 (S,M,W)	4kg 缶, 16kg 缶	2
ポリルーフ S-4NS	3 種 (S,M,W)	15kg 缶	2 (10℃以下:3)
ポリルーフ C-1T	1 種 (通年)	20kg 缶	2
ポリルーフ X-1AT	1 種 (通年)	18kg 缶	2
ポリルーフ S-4U	1 種 (通年)	16.5kg 缶, 4.4kg 缶セト (主:硬=10:1)	2
ポリルーフ S-4AU	1 種 (通年)	14kg 缶セト (主:硬=6:8)	2
ポリルーフ S-4AU 水性	1 種 (通年)	16.5kg 缶セト (主:硬=10:1)	2
ポリルーフ S-4S	1 種 (通年)	16kg 缶, 4kg 缶セト (主:硬=7:1)	2
ポリルーフ S-4S 専用 シンナー	3 種 (S,M,W)	16L 缶,4L 缶	—

品名	標準配合比	
	硬化剤	促進剤
ポリルーフ S-4	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-4B	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-4NS	SC 硬化剤 NS: 0.8～2%	<u>10℃以下で使用</u> SC 促進剤 NS: 0.2～0.4%
ポリルーフ C-1T	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ X-1AT	SC 硬化剤:0.8～2% (夏季:SC 硬化剤 NS)	—
ポリルーフ S-4U	S-4U の主剤・硬化剤 を混合する	—
ポリルーフ S-4AU	S-4AU の主剤・硬化 剤を混合する	—
ポリルーフ S-4AU 水性	S-4AU 水性の主剤・ 硬化剤を混合する	—
ポリルーフ S-4S	S-4S の主剤・硬化剤・ シンナーを混合する	—
ポリルーフ S-4S 専用 シンナー	—	—

品名	可使時間			意図して 促進剤を追加 する場合
	春秋	夏	冬	
S-4	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
S-4B	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
S-4NS	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
C-1T	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
X-1AT	20～ 60分 ※1	15～ 45分 ※1	30～ 90分 ※1	—
S-4U	約4 時間	約2 時間	約5 時間	—
S-4AU	約4 時間	約2 時間	約7 時間	—
S-4AU 水性	約3 時間	約2 時間	約3 時間	—
S-4S	約5 時間	約3 時間	約8 時間	—
S-4S 専用 シンナー	—	—	—	—

※1:温度、配合量により異なる。あくまでも標準配合における目安であり、範囲外になる場合もある。

品名		ラベル絵表示 (→絵表示説明)
ポリルーフ S-4		  
ポリルーフ S-4B		  
ポリルーフ S-4NS		
ポリルーフ C-1T		  
ポリルーフ X-1AT		  
ポリルーフ S-4U	主剤	  
	硬化剤	  
ポリルーフ S-4AU	主剤	  
	硬化剤	  
ポリルーフ S-4AU 水性	主剤	  
	硬化剤	 
ポリルーフ S-4S	主剤	  
	硬化剤	  
S-4S 専用 シンナー	S・M	   
	W	  

品名		区分	密度	等級	指定数量
S-4		第4類第2石油類 (非水溶性液体)	1.15	Ⅲ	1,000L
S-4B		第4類第2石油類 (非水溶性液体)	1.15	Ⅲ	1,000L
S-4NS		第4類第3石油類 (非水溶性液体)	1.35	Ⅲ	2,000L
C-1T		第4類第2石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
X-1AT		第4類第2石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
S-4U	主	第4類第2石油類 (非水溶性液体)	1.0	Ⅲ	1,000L
	硬	第4類第1石油類 (非水溶性液体)	1.0	Ⅱ	200L
S-4 AU	主	第4類第1石油類 (非水溶性液体)	0.9	Ⅱ	200L
	硬	第4類第1石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅱ	200L
S-4 AU 水性	主	—	1.1	—	—
	硬	—	1.1	—	—
S-4S	主	第4類第1石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅱ	200L
	硬	第4類第1石油類 (非水溶性液体)	1.0	Ⅱ	200L
S-4S 専用 シナー	S M	第4類第2石油類 (非水溶性液体)	0.9	Ⅲ	1,000L
	W	第4類第1石油類 (非水溶性液体)	0.87	Ⅱ	200L

品名		有機則	特化則
ポリルーフ S-4		非該当	非該当
ポリルーフ S-4B		非該当	非該当
ポリルーフ S-4NS		非該当	非該当
ポリルーフ C-1T		非該当	非該当
ポリルーフ X-1AT		非該当	非該当
ポリルーフ S-4U	主剤	非該当	非該当※ ¹
	硬化剤	非該当	非該当
ポリルーフ S-4AU	主剤	非該当	非該当
	硬化剤	非該当	非該当
ポリルーフ S-4AU 水性	主剤	非該当	非該当
	硬化剤	非該当	非該当
ポリルーフ S-4S	主剤	非該当	非該当
	硬化剤	非該当	非該当
S-4S 専用 シンナー	S M W	非該当	非該当
※1：プールブルーは「コバルト及びその化合物（管理第2類物質）」を含むため規制対象			

品名		有機則 ※該当物は全て 第 2 種有機溶剤	特化則 ※該当物は全て 第 2 類物質/ 特別有機溶剤
S-4		非該当	スチレン
S-4B		非該当	スチレン
S-4NS		非該当	非該当
C-1T		非該当	スチレン
X-1AT		非該当	スチレン
S-4 U	主	セロソルブアセテート, キシレン, 酢酸ブチル	エチルベンゼン ※1
	硬	トルエン	非該当
S-4 AU	主	トルエン, キシレン, シク ロヘキサノン	エチルベンゼン
	硬	トルエン, キシレン, シク ロヘキサノン, 酢酸 n-ブ チル	エチルベンゼン
S-4 AU 水性	主	非該当	非該当
	硬	非該当	非該当
S-4S	主	トルエン, キシレン, シク ロヘキサノン, 酢酸 n-ブ チル	エチルベンゼン
	硬	トルエン	非該当
S-4S 専用 シナー	S	キシレン	エチルベンゼン
	M W	トルエン, キシレン, シク ロヘキサノン, 酢酸 n-ブ チル	エチルベンゼン
※1: プールブルーは「コバルト及びその化合物(管理 第 2 類物質)」を含むため規制対象			

品名	成分
SC 促進剤 D	ジメチルアニリン
SC 促進剤 NS	特殊添加剤
SC 硬化剤	メチルエチルケトンパーオキサイド
SC 硬化剤 NS	メチルエチルケトンパーオキサイド
SC 硬化剤 B	ベンゾイルパーオキサイド
SC 硬化剤 AS・V	ベンゾイルパーオキサイド
SC 洗浄用シンナー	アセトン、メタノール
SC トナー	着色剤
ポリルーフ S-3N 用添加剤	特殊添加剤
ポリルーフ セメント沈降防止剤	特殊添加剤

品名	荷姿	標準・使用対象
SC 促進剤 D	1kg 缶	S-1DA 鉄部用, S-2 β , S-3N, X-1AT
SC 促進剤 NS	1kg 缶	S-1NS, S-2NS, S-3NS, S-4NS
SC 硬化剤	1kg 缶, 5kg 缶	S-1DA 鉄部用, M パテ , S-2 α , S-2 β , C-1, S-3N, S-4, S-4B, X-1AT, C-1T
SC 硬化剤 NS	1kg 缶, 5kg 缶	S-1DA 鉄部用, M パテ , S-2 α , S-2 β , C-1, S-3N, S-4, S-4B, X-1AT, C-1T, S-1NS, S-2NS, S-3NS, S-4NS
SC 硬化剤 B	1kg 缶	S-1V, AS
SC 硬化剤 AS・V	1kg	S-1V, AS
SC 洗浄用 シンナー	16L 缶	—
SC トナー	0.7kg 缶 グレー・ ダークグレー はチューブ	S-2 α , S-3N, X-1AT
ポリルーフ S-3N 用 添加剤	5kg 缶	S-3N
ポリルーフ セメント 沈降防止剤	50g, 1kg 缶, 4kg 缶	S-1, S-1R, S-1R マイルド

品名	ラベル絵表示 (→絵表示 説明)
SC 促進剤 D	  
SC 促進剤 NS	—
SC 硬化剤	    
SC 硬化剤 NS	    
SC 硬化剤 B	   
SC 硬化剤 AS・V	   
SC 洗浄用 シンナー	  
SC トナー	—
ポリルーフ S-3N 用添加剤	  
ポリルーフ セメント沈降防止剤	 

品名	区分	密度	等級	指定数量
SC 促進剤 D	第4類第2石油類 (非水溶性液体)	1.1	Ⅲ	1,000L
SC 促進剤 NS	第4類第3石油類 (非水溶性液体)	1.2	Ⅲ	2,000L
SC 硬化剤	第5類 第2種自己反応性 物質	1.04	Ⅱ	100kg
SC 硬化剤 NS	第5類 第2種自己反応性 物質	1.14	Ⅱ	100kg
SC 硬化剤 B	—	1.15	—	—
SC 硬化剤 AS・V	第5類 第2種自己反応性 物質	—	Ⅱ	100kg
SC 洗淨用 シンナー	第4類第1石油類 (水溶性液体)	0.8	Ⅱ	400L
SC トナー	第4類第3石油類 (非水溶性液体)	1.85	Ⅲ	2,000L
ポ リーフ S-3N 用 添加剤	第4類第2石油類 (非水溶性液体)	0.9	Ⅲ	1,000L
ポ リーフ セメント沈降 防止剤	第4類第3石油類 (非水溶性液体)	1.13	Ⅲ	2,000L

品名	有機則	特化則
SC 促進剤 D	非該当	非該当
SC 促進剤 NS	非該当	非該当
SC 硬化剤	非該当	非該当
SC 硬化剤 NS	非該当	非該当
SC 硬化剤 B	非該当	非該当
SC 硬化剤 AS・V	非該当	非該当
SC 洗淨用 シンナー	非該当	非該当
SC トナー	非該当	非該当
ポリルーフ S-3N 用添加剤	非該当	非該当
ポリルーフ セメント 沈降防止剤	非該当	非該当

品名	有機則	特化則
SC 促進剤 D	非該当	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
SC 促進剤 NS	非該当	非該当
SC 硬化剤	非該当	非該当
SC 硬化剤 NS	非該当	非該当
SC 硬化剤 B	非該当	非該当
SC 硬化剤 AS・V	非該当	非該当
SC 洗浄用 シンナー	アセトン、 メタノール (第2種有機溶剤)	非該当
SC トナー	非該当	非該当
ポリルーフ S-3N 用 添加剤	S:非該当 ----- W:ミネラルスピリット等 (第3種有機溶剤)	スチレン (第2類物質/ 特別有機溶剤)
ポリルーフ セメント 沈降防止剤	非該当	非該当

絵表示	事故の予防・抜粋 ※詳しくはラベル・SDS を参照
	熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざける。禁煙。保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用する。
	吸引等で健康障害の場合があり、製品使用時に、飲食や喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーなどを吸入しない。推奨された個人用保護具を着用する。
	急性毒性、皮膚刺激性、眼刺激性、などがあり、どのような危険有害性があるか確認する。ラベルに記載された注意書きに沿った取扱いが必要。
	他の容器に移し替えない。粉じんまたはミストを吸入しない。取扱い後はよく手を洗う。保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用する。
	熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざける。禁煙。保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用する。
	環境への放出を避ける。
	急性毒性を表しており、製品使用時に、飲食や喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。眼、皮膚、または衣類に付けない。保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用する。

●全国ポリルーフ工業会

〒108-0073 東京都港区三田3-1-9 大坂家ビル5F

TEL.(03)5484-3060(代)/FAX.(03)5484-3061/E-mail poly-roof@me.point.ne.jp

●双和化学産業株式会社

本社：〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通1-2-26

TEL.(078)651-6272(直)/FAX.(078)651-6276/E-mail poly@sowa-chem.co.jp

東京支店：〒108-0073 東京都港区三田3-1-9 大坂家ビル5F

TEL.(03)5476-2371(代)/FAX.(03)5476-0881/E-mail tokyo@sowa-chem.co.jp

技術センター：〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通1-2-25